

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	永井 毅
		全体計画						経費区分		-		内線	3625
事務事業名	4322 体育施設管理事業												
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04022000 スポーツ活動の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費											
	事業	010000 体育施設管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
市民の体育・スポーツのニーズに対応した体育施設の貸し出し及び施設整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりの向上を図る。						体育施設の予約受付、調整等を実施し、市民、市外からの合宿・大会等に貸し出し及び施設の適切な管理、整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりを進める。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
北部体育館電気設備更新など修繕料 10,993千円 体育施設管理業務委託 22,050千円など	市民体育館バスケットゴール修繕、床金物修繕など修繕料 21,650千円 体育施設管理業務委託 23,000千円など
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	体育施設年間延利用者数					単位	人
算式	420,000						
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	380,000	390,000	400,000	410,000		420,000
	実績						
指標選定の理由	スポーツ活動の指標として選定						
最終年度目標の根拠	人口が減少していく中で、スポーツ人口の増加をめざす H26年度実績値 約15%増						
指標名						単位	
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		63,775	74,650
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	12,410	11,452
一般財源		51,365	63,198
人員数(人)	正規職員	0.9	0.0
	嘱託職員	2.0	0.0
	臨時職員	1.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,487.2	0.0
	嘱託職員	5,410.0	0.0
	臨時職員	1,030.0	0.0
	計	12,927.2	0.0
市民一人当たりの経費		1.5	1.4
総額		76,702.2	74,650.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	23,101	体育施設電気料 7,840、上下水道料 1,906、修繕料 10,993 など
13節 委託費	26,548	シルバー人材センター施設管理業務委託料 22,050、除雪委託料 303、電気保安業務委託料 344、施設整備委託料 2,685 など
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	14,126	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	33,663	体育施設電気料 7,785、上下水道料 1,930、修繕料 21,650 など
13節 委託費	27,170	シルバー人材センター施設管理業務委託料 23,000、除雪委託料 300、電気保安業務委託料 344、施設整備委託料 2,700 など
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13,817	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	スポーツを通じ、健康増進を図り、地域の皆さんの相互交流が活発に行われるように、施設を安全に使用できるよう維持管理を行っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	北部体育館キューピクル（受電設備）修繕など、緊急度を考慮し、計画的に施設の修繕、また日頃の管理の徹底と異常個所の早期発見を図るため、施設管理チェックリストを作成し、管理点検作業の統一化、見える化を図った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	民間の電気供給会社に切り替えるなど経費節減に努めているが、施設の老朽化が進んでおり、修繕箇所は増加している。受益者負担の見直しとなる使用料の変更については、全市的な検討が必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

日々の管理を外部委託している中で、担当者が交替しても、同様の基準でチェックが容易にできるリストを作成し、日常点検の効率化、統一化、見える化を図った。
 市全体の公共施設管理計画は策定されたが、体育施設について、長期的に見た管理計画を定め、修繕内容について、優先度を決定していく必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
スポーツを通じ、元気で生き生きと生活し、健康寿命をさらに伸ばし、地域の交流を活発にしていくため、また、災害時にも対応するため、体育施設の維持管理を計画的に実施していく必要がある。		市民のスポーツ振興のため、安全性や使いやすさなど市民目線に立った適切な維持管理に努めている。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	